

# しりべし経済レポート

**Vol.112**  
(令和6年8月発行)



**財務省 北海道財務局 小樽出張所**

URL <https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/otaru/index.html>

希望ある未来へ 地域と歩む 北海道財務局

# 目 次

総括判断	.....	1	
個人消費	.....	2	
観	光	.....	4
住宅建設	.....	6	
公共工事	.....	7	
生	産	.....	7
雇	用	.....	8
【 参 考 】			
金	融	.....	9
企業倒産	.....	10	

＝利用に当たっての注意＝







- ・数字の単位未満は原則として四捨五入としているため、合計と内訳の計、表中記載の前年比と表上での算出前年比が一致しない場合がある。
- ・本指標は本レポート発行時に公表されているデータを基に作成しており、原則としてその後のデータ提供先による修正を反映していない。

## 1. 【令和6年4月～6月期 総括判断】

# 管内経済は、持ち直している

	前回（6.1～3期）	今回（6.4～6期）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

## 2. 【各項目の判断】

	前回（6.1～3期）	今回（6.4～6期）	前回比較
個人消費	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
観光	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	
住宅建設	持ち直しの動きに一服感がみられる	持ち直しのテンポが緩やかになっている	
公共工事	年度累計では前年を上回る	前年を上回る	
生産	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
雇用	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	

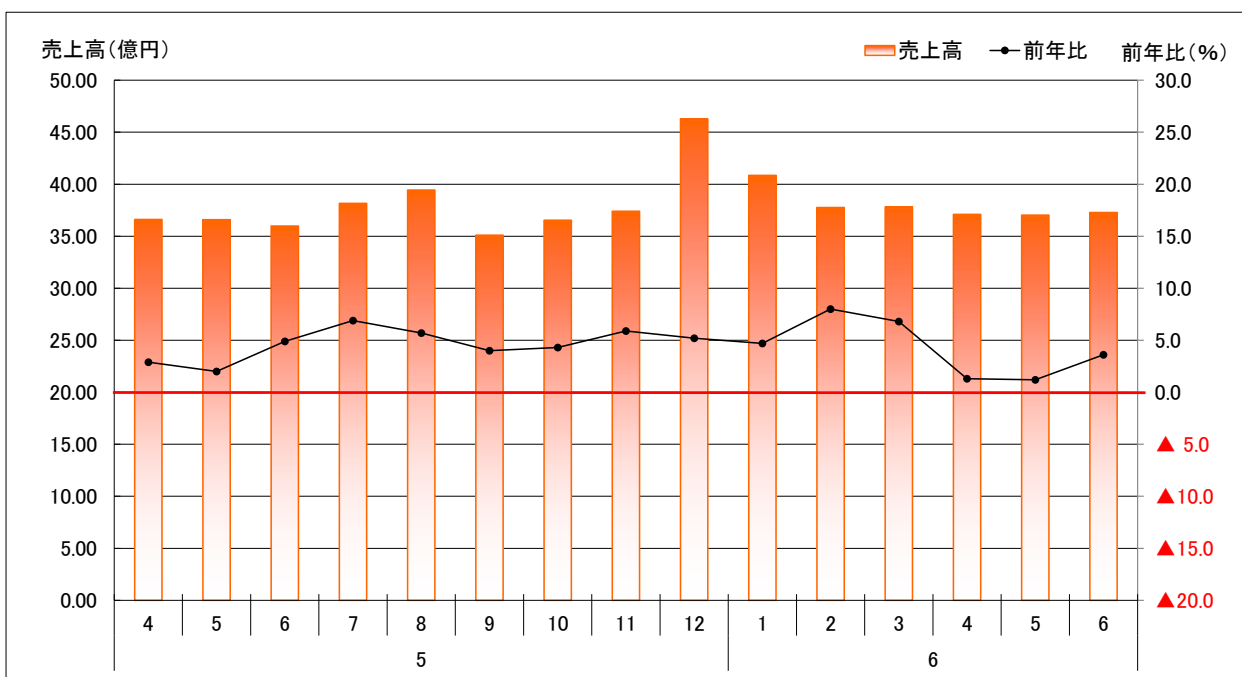
【個人消費】

持ち直しつつある

主要小売店売上高は価格上昇が続く中、総菜、加工食品などの飲食料品の好調が見受けられ、前年を上回っている。

新車登録・届出台数は、一部メーカーの認証不正問題による生産停止の影響から、前年を下回っている。

主要小売店売上高



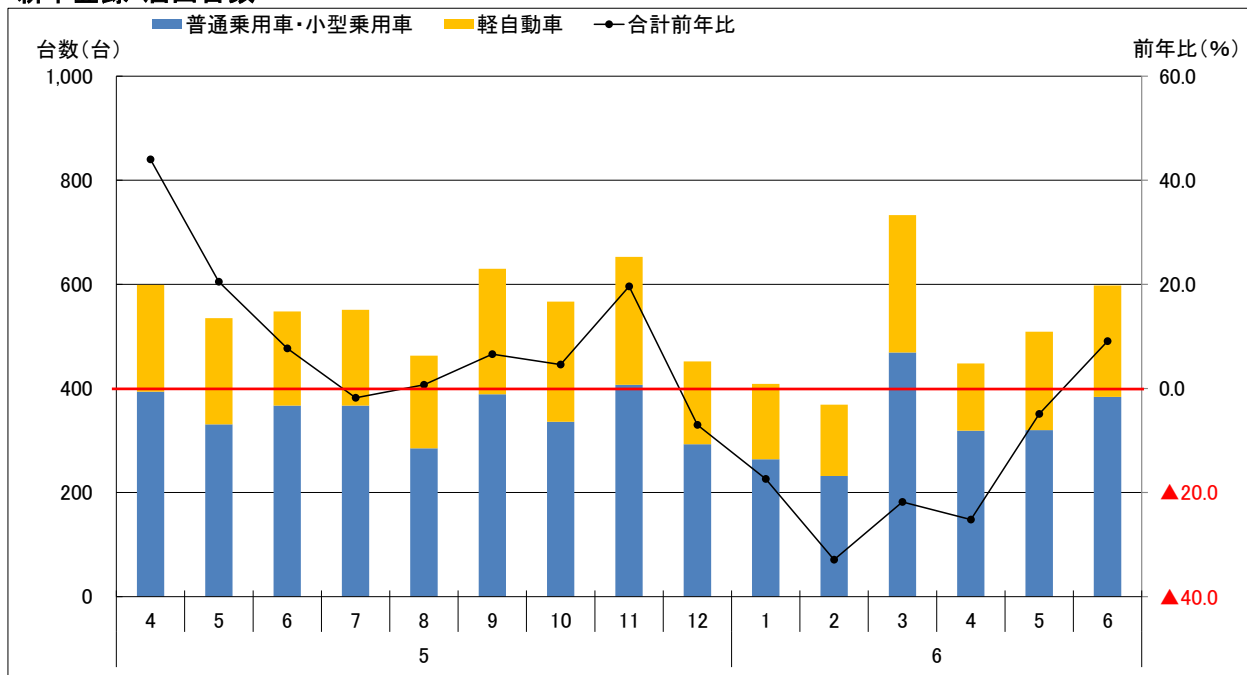
(単位: 百万円、%)

	合計		うち飲食料品		うち衣料品	
	前年比	前年比	前年比	前年比		
4年	42,815	0.5	27,965	0.6	1,337	0.4
5年	45,145	5.4	29,485	5.4	1,314	▲ 1.8
5.4~6	10,918	3.2	7,053	3.8	342	▲ 0.1
7~9	11,270	5.5	7,429	5.7	300	▲ 5.4
10~12	12,021	5.2	7,685	5.2	374	▲ 7.4
6.1~3	11,642	6.5	7,842	7.2	270	▲ 9.0
4~6	11,141	2.0	7,195	2.0	305	▲ 10.6
6年1月	4,085	4.7	2,759	5.6	93	▲ 11.1
2月	3,776	8.0	2,565	7.6	77	▲ 4.4
3月	3,781	6.8	2,519	8.5	100	▲ 10.4
4月	3,710	1.3	2,378	1.0	98	▲ 15.2
5月	3,703	1.2	2,369	1.4	101	▲ 12.6
6月	3,728	3.6	2,448	3.7	107	▲ 3.6

(資料) 北海道財務局小樽出張所

※主要小売店売上高は、令和4年7月に集計対象小売店が変更となったため、遡及可能な範囲で売上高及び前年比を再計算している。そのため、以前までの数字と連続しない。

## 新車登録・届出台数



(単位: 台、%)

	合計		普通乗用車・小型乗用車		軽自動車	
	前年比	前年比	前年比	前年比		
4年	6,130	▲ 1.4	3,781	▲ 1.9	2,349	▲ 0.4
5年	6,980	13.9	4,434	17.3	2,546	8.4
5.4~6	1,682	22.9	1,092	33.0	590	7.7
7~9	1,644	2.0	1,041	2.8	603	0.7
10~12	1,672	6.2	1,036	10.4	636	0.0
6.1~3	1,511	▲ 23.8	965	▲ 23.7	546	▲ 23.8
4~6	1,555	▲ 7.6	1,023	▲ 6.3	532	▲ 9.8
6年1月	409	▲ 17.4	264	▲ 12.9	145	▲ 24.5
2月	369	▲ 32.9	232	▲ 33.1	137	▲ 32.5
3月	733	▲ 21.8	469	▲ 23.7	264	▲ 18.0
4月	448	▲ 25.2	319	▲ 19.0	129	▲ 37.1
5月	509	▲ 4.9	320	▲ 3.3	189	▲ 7.4
6月	598	9.1	384	4.6	214	18.2

(資料) 北海道財務局小樽出張所

### 個人消費に関する生の声

- ・家で食事をする際に調理を避けたいニーズが高まっており、惣菜や加工食品の売れ行きも良かった。(小売店)
- ・鮮魚品の不漁による高騰の為、魚製品の惣菜が好調であった。(小売店)
- ・消費者の生活意識の高まりで生活優先度が高いものから厳選購入する動きが見えつつも、祝日や記念日に合わせた高価格帯商品(特に寿司、洋酒)の売れ行きは良かった。(小売店)
- ・クルーズ船接岸時のインバウンド客の実績に関しては、コロナ前の状況に戻つつある。(小売店)
- ・半導体不足等による納期滞留の影響はほとんどなく、納車までは3か月程度のサイクルとなっている。(乗用車販売店)
- ・メーカーの不正認証問題の影響で新規出荷停止対応されていた為、昨年比で受注・登録台数が減少している。(乗用車販売店)

#### 【先行き】

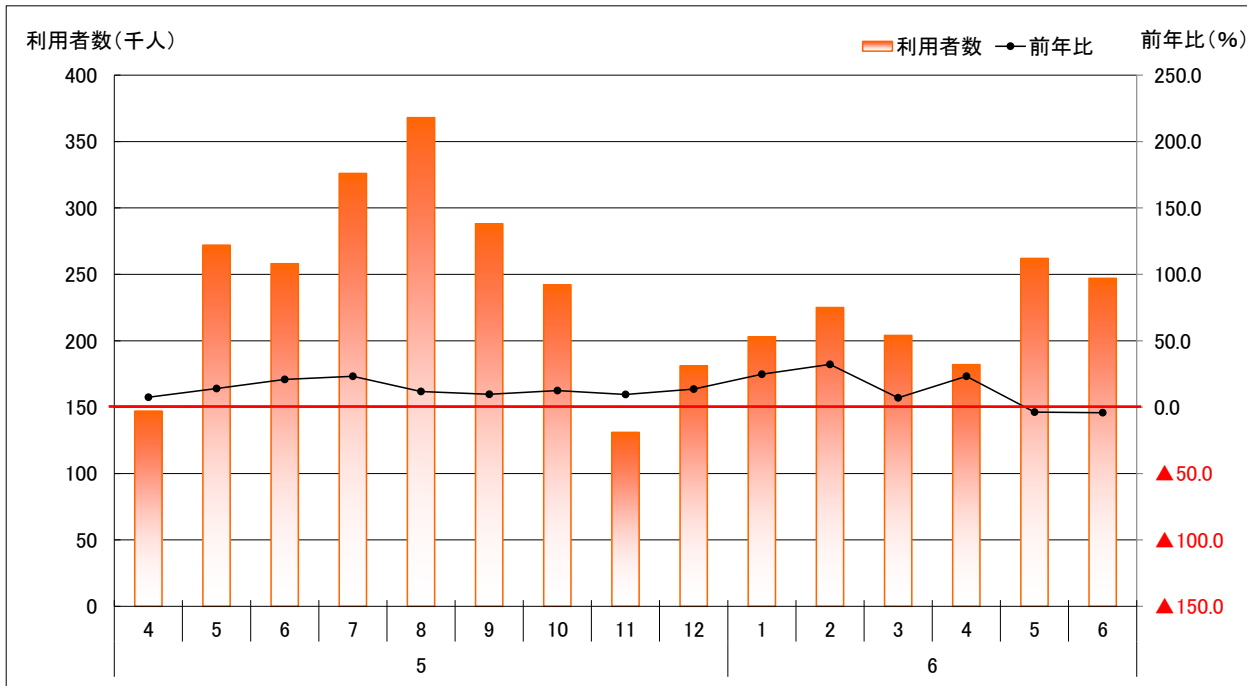
- ・消費者の購買マインドについては、日常では嗜好品など生活優先度が下位の品物を選ぶ選択であるため、ポイント倍増日や、特売日に買い足しする傾向が多くみられることから、物価高に対する生活防衛意識が続いていくと予想される。(小売店)
- ・車両原価高騰により、自動車車両価格が上昇しているが、車種、グレード、装備品を予め決めた上で購入するユーザーが多く、受注台数が増えており今後も継続していくと予想される。(乗用車販売店)

【観光】

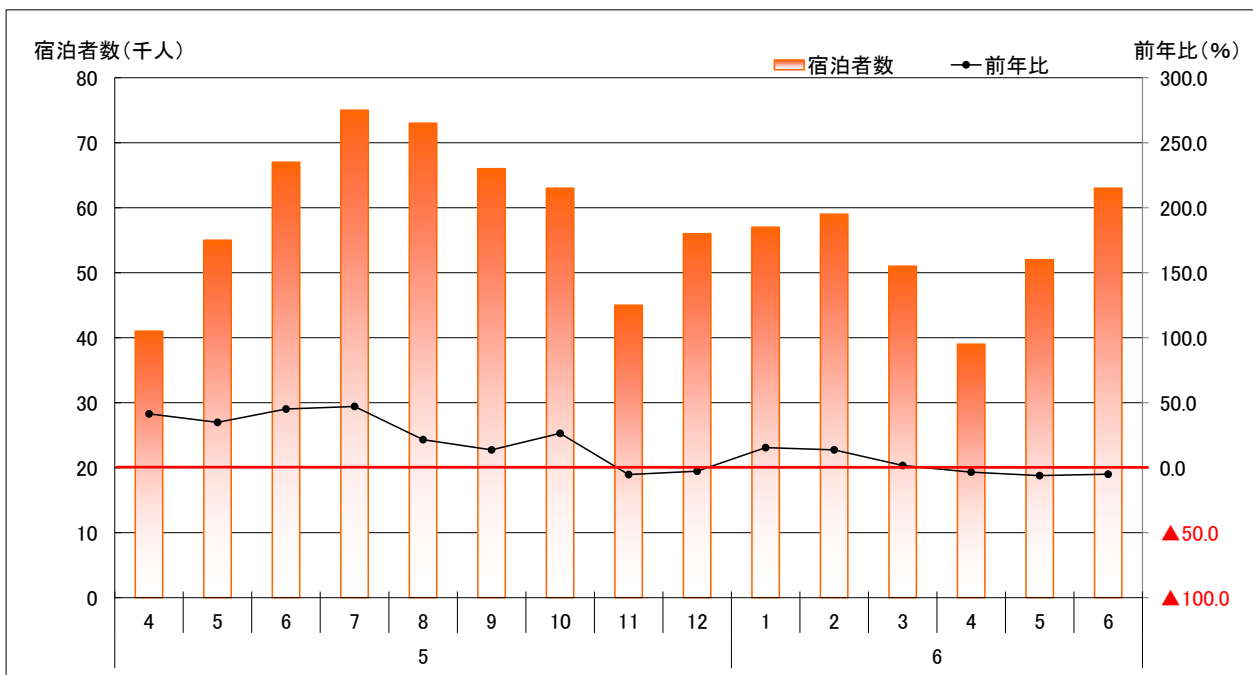
緩やかに回復しつつある

主要観光施設利用者数は、円安の影響等により海外客が増加したことから、前年を上回った。  
 主要宿泊施設宿泊者数は、前年の旅行支援事業終了による反動減等により国内客が減少したこと  
 から前年を下回った。

主要観光施設利用者数



主要宿泊施設宿泊者数(小樽市)



(単位:人、%)

	主要観光施設 利用者数		主要宿泊施設 宿泊者数	
		前年比		前年比
4年	2,245,733	62.2	512,174	93.8
5年	2,736,229	21.8	692,052	35.1
5.4～6	676,973	15.0	162,150	40.5
7～9	982,254	14.7	214,433	26.6
10～12	554,260	12.1	164,460	5.9
6.1～3	631,074	20.7	166,550	10.3
4～6	690,668	2.0	154,136	▲ 4.9
6年1月	202,664	24.8	56,781	15.4
2月	224,869	32.2	58,755	13.7
3月	203,541	7.0	51,014	1.8
4月	181,809	23.3	39,275	▲ 3.5
5月	261,845	▲ 3.7	51,621	▲ 6.1
6月	247,014	▲ 4.2	63,240	▲ 4.9

(資料)小樽市、北海道財務局小樽出張所

※1.主要観光施設利用者数は、令和4年1月及び令和5年4月に集計対象施設が変更となったため、過去に遡って人数及び前年比を再計算している。そのため、以前までの数字と連続しない。

※2.主要宿泊施設宿泊者数は、令和4年10月に集計対象施設が変更となったため、以前までの数字と連続しない。

### 観光に関する生の声

- ・円安や前年同期に実施したコロナ対策の緩和により日本への旅行がしやすくなったことから、海外個人客の利用者数は前年を上回った。(観光施設)
- ・円安の影響から若年層の韓国人を中心に東アジア地域からの海外客が多かった。(観光施設)
- ・海外客について、4月はコロナ対策の緩和や円安により海外客が増加したが、5月、6月はコロナ対策の緩和が一巡したことにより、海外客の動きが弱かった。(観光施設)
- ・前年同期に実施していた旅行支援事業が終了したことから、国内団体客の宿泊者数が前年を下回った。(宿泊施設)
- ・今期の宿泊予約の傾向は、価格帯の安いプランが人気で、高いプランの売れ残りが目立った。国内客を中心に物価高の影響による生活防衛意識の高まりを感じた。(宿泊施設)
- ・前年同期は、コロナ対策の緩和や、旅行支援事業の影響から、これまで旅行を控えてきた観光客が一気に押し寄せたが、今年は一巡したことにより、国内客の動きが弱かったと考えている。(公的機関)

#### 【先行き】

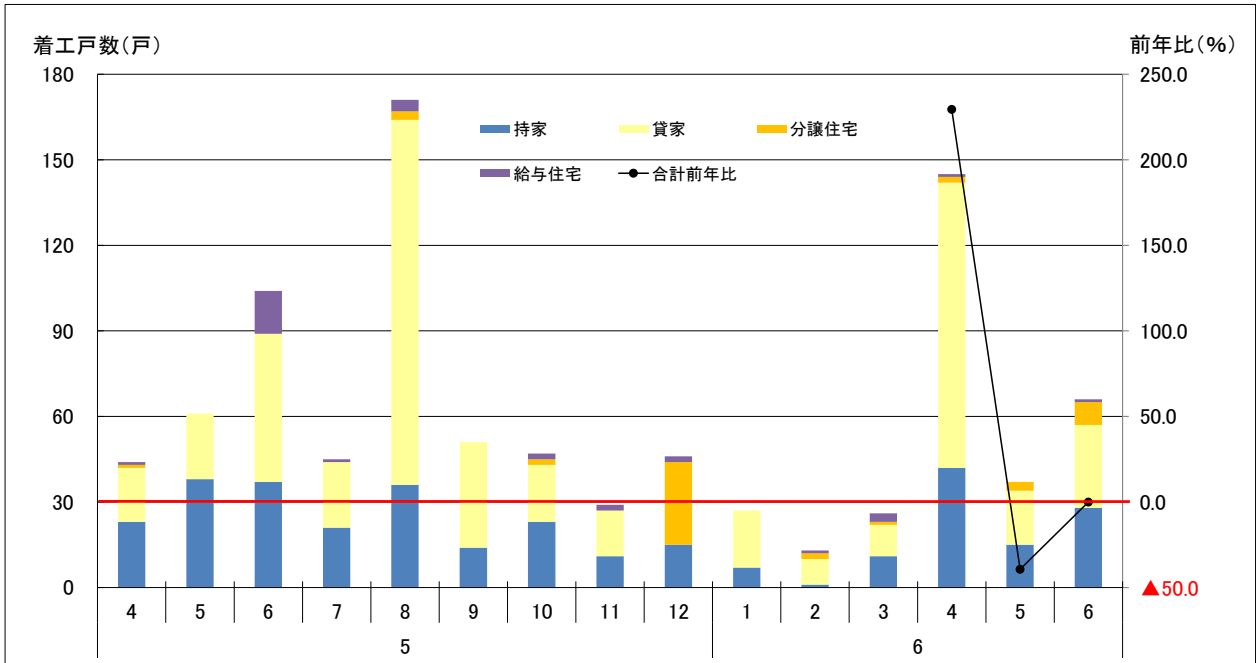
- ・7月以降は韓国からの団体客の予約があり、利用者数は前年を上回る。(観光施設)
- ・7月以降も物価高の影響による国内客の旅行需要が停滞することから、国内客は減少していくと予想している。(宿泊施設)

【住宅建設】

持ち直しのテンポが緩やかになっている

新設住宅着工戸数は、持家と給与住宅で前年を下回っているものの、貸家と分譲住宅では前年を上回っていることから、全体でも前年を上回った。

新設住宅着工戸数(後志管内20市町村)



(単位:戸、%)

	後志管内											
	合計			利用関係別								
	前年比	うち小樽市		前年比	持家		貸家		給与住宅		分譲住宅	
		前年比	前年比		前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
5.4~6	209		89	▲ 15.2	98		94		16		1	
7~9	267		61	▲ 65.5	71		188		5		3	
10~12	122		36	▲ 50.0	49		36		6		31	
6.1~3	66		10	▲ 61.5	19		40		4		3	
4~6	248	18.7	21	▲ 76.4	85	▲ 13.3	148	57.4	2	▲ 87.5	13	13倍
6年1月	27		2	▲ 80.0	7		20		0		0	
2月	13		0	皆減	1		9		1		2	
3月	26		8	▲ 27.3	11		11		3		1	
4月	145	3.3倍	5	▲ 54.5	42	82.6	100	5.3倍	1	0.0	2	2.0倍
5月	37	▲ 39.3	8	▲ 60.0	15	▲ 60.5	19	▲ 17.4	0	0.0	3	皆増
6月	66	▲ 36.5	8	▲ 86.2	28	▲ 24.3	29	▲ 44.2	1	▲ 93.3	8	皆増

※1新設住宅着工戸数は、令和5年4月に集計対象団体を変更している。  
(集計対象団体:小樽市→後志管内20市町村)

(資料)国土交通省

住宅建設に関する生の声

- ・コロナ感染症の5類移行後の影響により町内企業の経済活動が好況の為、社員寮としての貸家申請が前年より多くなったと考えられる。(公的機関)
- ・持家における住宅建築原価(資材費、人件費、燃料他)の高騰から、住宅販売価格に転嫁され、価格高騰したことにより、住宅買い控えに繋がっていると思われる。(公的機関)

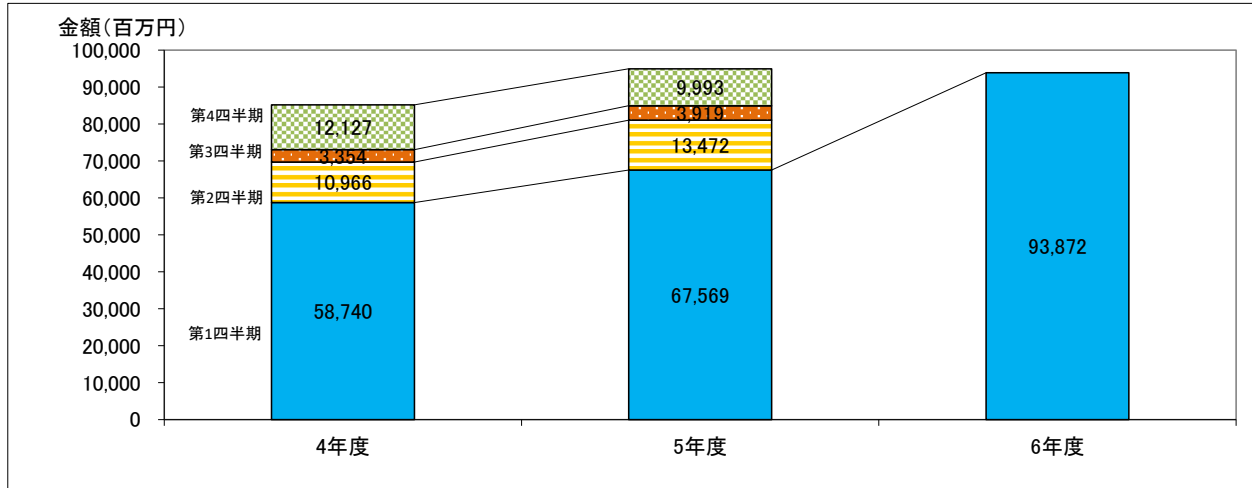


【公共工事】

前年を上回る

公共工事前払金保証請負金額は、前年を上回っている。

公共工事前払金保証請負金額



(単位:百万円、%)

	月間		累計(年度)	
		前年比		前年比
4年	—	—	85,187	3.2
5年	—	—	94,953	11.5
5.4~6	67,569	15.0	67,569	15.0
7~9	13,472	22.9	81,041	16.3
10~12	3,919	16.8	84,960	16.3
6.1~3	9,993	▲ 17.6	94,953	11.5
4~6	93,873	38.9	93,873	38.9
6年1月	67	▲ 30.0	85,028	16.2
2月	1,073	81.1	86,101	16.7
3月	8,851	▲ 22.6	94,953	11.5
4月	55,970	12.8	55,970	12.8
5月	32,010	150.3	87,980	40.9
6月	5,892	14.6	93,873	38.9

※1.公共工事前払金保証請負金額は、令和4年7月に集計方法が変更となったため、遡及可能な範囲で再計算している。そのため以前までの数字と連続しない。

(資料)北海道建設業信用保証(株)  
 ※2.四半期の数字は、端数の関係で単月3ヶ月の累計と一致しない。

【生産】

持ち直しつつある

生コン出荷状況は、官需、民需とも前年を上回ったことから、全体では前年を上回る。

水産加工は、ニシンの漁獲が好調であるものの、需要の落ち着きが見られたことから、安定した操業となっている。

金属・機械について、金属加工は前年同期の受注量が多かったことによる反動減から低調となっている。機械生産は北米地域を中心にHV等自動車の需要の伸びがあることから順調となっている。

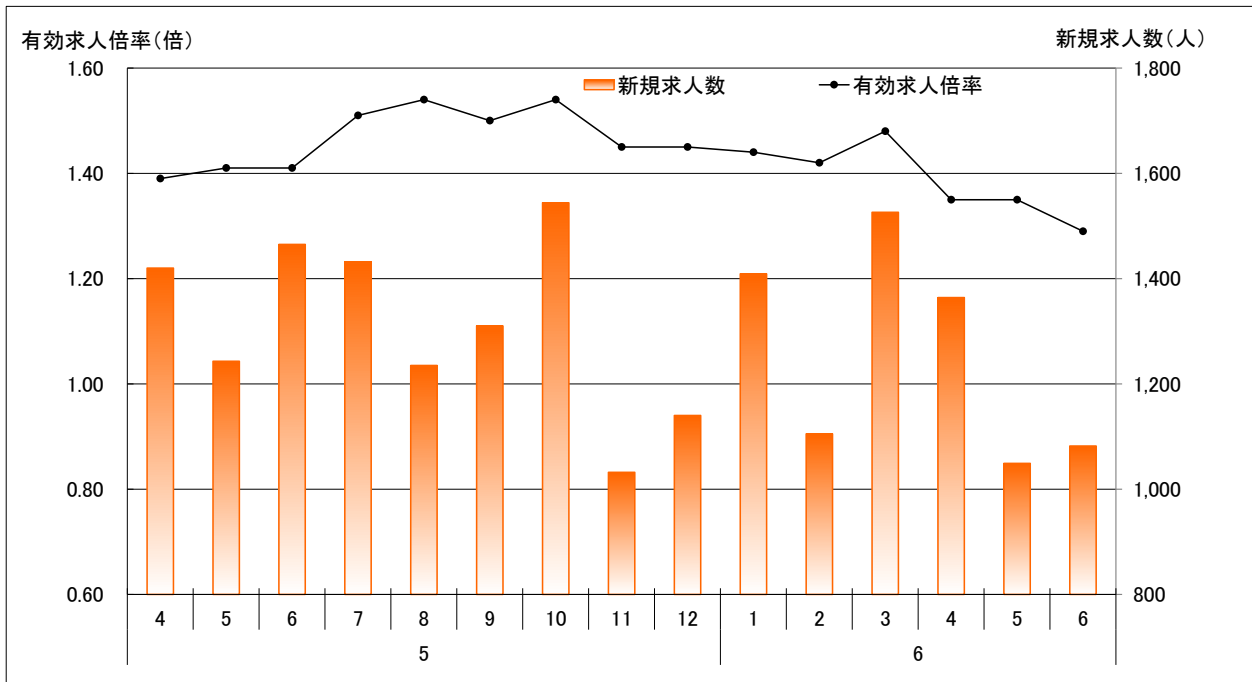
プラスチック・ゴムについて、プラスチック製品は前年同期の受注量が多かったことによる反動減から低調となっている。ゴム製品は半導体工場等からの大口案件の受注があることから、安定した操業となっている。

【雇用】

緩やかに持ち直している

有効求人倍率は、前年を下回っている。なお、有効求職者数、有効求人数とも前年を下回っており、有効求人数の減少幅が大きい。  
新規求人数は、前年を下回っている。

有効求人倍率(常用・原数値)、新規求人数



	有効求職者数		有効求人数		有効求人倍率		新規求職者数		新規求人数	
	前年比	前年比	前年比	前年差	前年比	前年比	前年比	前年比		
4年	31,906	▲ 7.9	42,511	15.6	1.33	0.27	7,098	▲ 4.1	15,226	15.7
5年	31,493	▲ 1.3	45,540	7.1	1.45	0.12	6,992	▲ 1.5	15,935	4.7
5.4~6	8,532	▲ 3.0	11,983	9.9	1.40	0.16	2,047	▲ 2.6	4,128	5.5
7~9	7,721	1.4	11,706	8.7	1.52	0.11	1,488	▲ 5.4	3,977	1.7
10~12	7,471	▲ 0.3	11,039	▲ 2.8	1.48	▲ 0.04	1,425	▲ 6.6	3,716	▲ 1.1
6.1~3	7,518	▲ 3.2	10,868	0.5	1.45	0.06	1,841	▲ 9.4	4,040	▲ 1.8
4~6	8,023	▲ 6.0	10,667	▲ 11.0	1.33	▲ 0.07	1,865	▲ 8.9	3,495	▲ 15.3
6年1月	2,382	▲ 1.4	3,431	0.9	1.44	0.03	547	▲ 6.8	1,409	21.9
2月	2,515	0.2	3,569	2.7	1.42	0.03	594	0.0	1,105	▲ 9.8
3月	2,621	▲ 7.9	3,868	▲ 1.8	1.48	0.10	700	▲ 17.7	1,526	▲ 11.9
4月	2,758	▲ 3.7	3,721	▲ 6.7	1.35	▲ 0.04	817	▲ 3.4	1,364	▲ 3.9
5月	2,712	▲ 5.6	3,653	▲ 9.6	1.35	▲ 0.06	572	▲ 12.0	1,049	▲ 15.6
6月	2,553	▲ 8.7	3,293	▲ 16.7	1.29	▲ 0.12	476	▲ 13.6	1,082	▲ 26.1

(資料)小樽・岩内公共職業安定所  
※本指標は常用と常用パートの合計である。

雇用に関する生の声

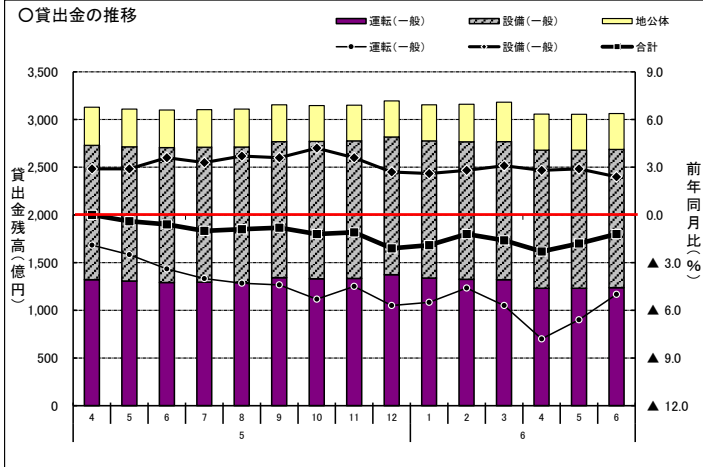
- ・外国人労働者、技能実習生の採用や、ハローワーク以外の民間媒体を積極的に利用している企業が多いことから、新規求人数は前年を下回ったと考えている。(公的機関)
- ・求人募集を行っても、人手の確保が上手くいかなかったことから、外国人技能実習生の採用を行った。(製造業)
- ・求人募集の手段について、ハローワーク以外の民間媒体や、スポットワークを活用している。(観光業)

# 参考

## 【金融】

### 貸出金残高は前年を下回る

#### 金融(貸出金)



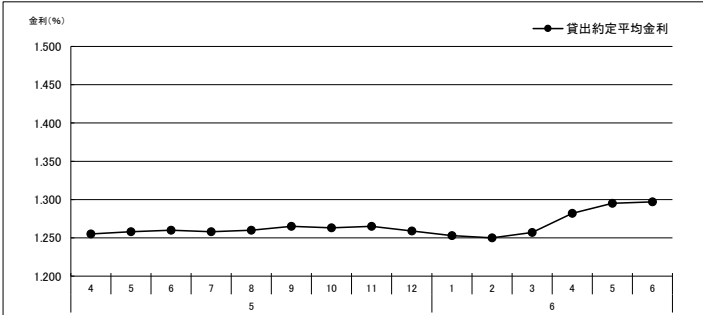
(資料)北海道財務局小樽出張所

	金額(百万円)			前年比	
	設備(一般)	運輸(一般)	地公体		
5年3月	140,567	140,064	42,774	323,405	0.1
6年3月	144,881	132,088	41,192	318,161	▲1.6

	金額(百万円)	前年同月比(%)
6年1月	143,827	▲1.9
2月	144,234	▲1.2
3月	144,881	▲1.6
4月	144,838	▲2.3
5月	144,847	▲1.8
6月	144,915	▲1.2

(注) 1. (一般)は法人及び個人向けの貸出である。  
2. 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫である。

#### 金融(貸出約定平均金利)



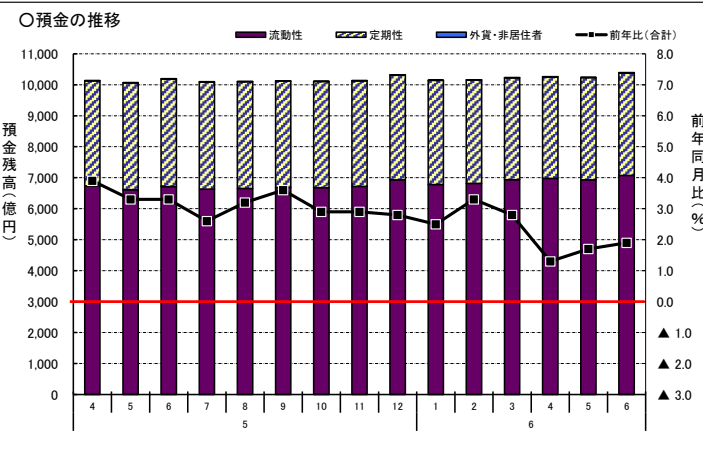
(資料)北海道財務局小樽出張所

	金利(%)	前年差(Pt)
5年3月	1.241	▲0.002
6年3月	1.257	0.016

	金利(%)	前月差(Pt)
6年1月	1.253	▲0.006
2月	1.250	▲0.003
3月	1.257	0.007
4月	1.282	0.025
5月	1.295	0.013
6月	1.297	0.002

(注) 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫、労働金庫である。

#### 金融(預金)



(資料)北海道財務局小樽出張所

	金額(百万円)			前年比	
	流動性	定期性	外貨・非居住者		
5年3月	656,075	338,233	772	995,080	3.9
6年3月	693,703	328,964	492	1,023,159	2.8

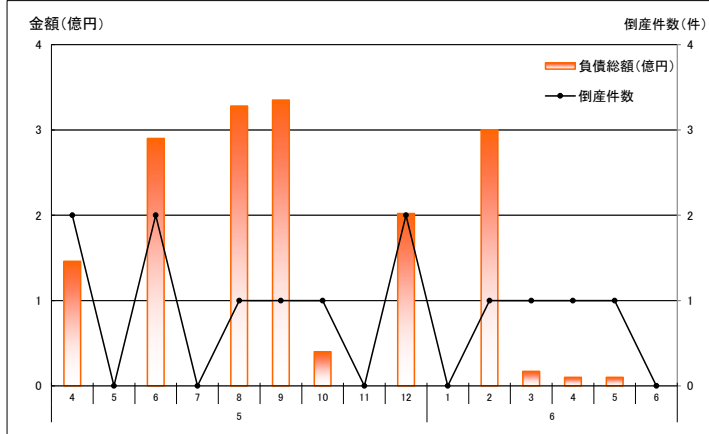
	金額(百万円)	前年同月比(%)
6年1月	678,006	2.5
2月	681,479	3.3
3月	693,703	2.8
4月	697,973	1.3
5月	693,104	1.7
6月	707,540	1.9

(注) 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫、労働金庫である。

【企業倒産】

件数、負債総額とも前年を下回る

企業倒産(負債総額1千万円以上)



(資料) 株式会社東京商工リサーチ

	倒産件数(件)	前年比	負債総額(百万円)	前年比
4年	6	▲ 45.5	1,666	14.0
5年	13	2.2倍	1,947	16.9

5.4~6	4	2.0倍	436	34.2
7~9	2	皆増	663	皆増
10~12	3	50.0	242	▲ 76.7
6.1~3	2	▲ 50.0	317	▲ 47.7
4~6	2	▲ 50.0	20	▲ 95.4

6年1月	0	皆減	0	皆減
2月	1	0.0	300	5.0倍
3月	1	▲ 50.0	17	▲ 96.8
4月	1	▲ 50.0	10	▲ 86.3
5月	1	皆増	10	皆増
6月	0	皆減	0	皆減

お問い合わせ先

財務省 北海道財務局

小樽出張所 財務課

〒 047-0007 小樽市港町5番2号 小樽地方合同庁舎

TEL 0134-23-4103

E-mail [HKZJOTARUZAIMU@hk.lfb-mof.go.jp](mailto:HKZJOTARUZAIMU@hk.lfb-mof.go.jp)